

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	漂砂（港内埋没）
相談タイトル	漁港内への漂砂の流入について
相談者	福島県
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁港内に漂砂が流入している状況であり、現在、斜路や岸壁前面が砂に覆われ、その区域も拡大している状況にある。原因としては潮流の変化など、様々な要因が影響していると思慮されるが、明確にはつきとめられていない。また、地元漁協からも浚渫を強く要望されており、毎年浚渫を実施しているものの漂砂の流入が止まらない状況である。このことから、漁港内へ漂砂が流入する中で、漂砂の予測方法、将来的にあるべき漁港の形状（最適な漁港の形状）及び今後の対応について、相談したい。
相談会の結果（R02.8.6）	<p>以下のアドバイスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対策案にもある突堤は、漂砂の移動限界まで設置しなければ効果は期待できないし、もし設けたとしても時間が経過するに従い堆砂が進行して水深が浅くなり、再び砂は動き出すためイタチごっこになる。現状有している離岸堤群や岬、波除堤などは一般論でいえば沿岸漂砂を止める機能があるはず。それでもこれだけ港内に砂が入ってくるということは、ちょっとしたハード対策では砂の流入防止効果を見込めないことが想定される。 ・ 現状では堆砂の影響によって碎波点が沖側に前進しており、離岸堤群が漂砂を港内に誘導するような役割となってしまっている可能性がある。 ・ 当該漁港の海域はすべて砂層ではなく岩礁も存在する。また、砂を動かす波浪の波向き、波高・周期や砂の粒径など、数値計算は特定の条件・仮定を置かざるを得ない。当該漁港の場合、数値計算で砂の動きや堆砂量を精度高く予測することは難しい。 ・ 当該区域では砂の動きが活発なのは明らかで、ハード対策を行っても漂砂の港内流入を抑制する効果が出るかわからず、むしろ悪くなってしまう場合も想定される。B/Cや漁場利用の観点を踏まえると、大規模なハード対策による対応は難しいのではないかと。現実的には維持浚渫を主とする対応にならざるを得ないが、その際に砂を漂砂の上手側の侵食傾向にある海岸に投入する「サンドリサイクル」という方法も考えられる。現状の堆砂の成分はシルトではなく細砂と思われるので、建設海岸などとも連携してサンドリサイクルの実施を検討してはどうか。
相談会後の検討状況	<p>持ち帰って検討する。必要があれば再度相談する。</p>